九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[30_04]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/1470315

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 30 (4), 1997-12. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

編　集　後　記

11月半ばに, Supercomputing 97 という学会に出席するためアメリカに行ってきました. まずサンフランシスコに着いて, スタンフォード大学を訪問して, それから学会の会場である San Jose (なぜかサンノゼと読む) に行きました.

サンフランシスコでは半日くらいフリーになる予定だったので, 楽しみにしてたんですが, 飛行機が 2 時間遅れたため市街地に着いたのが夕方 4 時. それで, 金門橋もアルカトラズもあきらめて, 名物のケーブルカーに乗り, Great Fisherman's Wharf という港ででっかいカニサンドイッチを食べただけで帰ってきました. ただ, 帰りに Caltrain という列車に乗ったのですが, アメリカでは鉄道の扱いがあまりよくありません. サンフランシスコ駅も町外れにあったので, 夜 8 時でも歩いててちょっと危険を感じました.

翌日は朝から Caltrain に乗ってスタンフォード大学に行きました. この大学は, 幼くしてなくなった息子のためにスタンフォードさんが作ったので, スタンフォードジュニア大学とも呼ばれるそうです. 建物の屋根は, 天国からも見えるように息子さんが好きだった赤に統一されてます. という話をフーバータワー (スタンフォード大学の第一期生であるフーバー大統領が建てた展望塔) でアルバイトをしていた学生さんに聞いたあと, 学食ででっかい南米風春巻のようなものを食べ, 生協でちょっと買い物をして, 最後にスタンフォード大学でコンパイラの研究をされている Lam 教授の研究室を訪問しました. 研究室が入ってる建物はゲイツビルディングといって, その名の通り, あの William Gates さん (Microsoft Co.) が出資して建てたものだそうです. Lam 先生はご不在で, 代わりに博士課程の学生さん二人とお話ししました. 彼らは SUIF というコンパイラシステムを開発するグループで, 並列化の部分を担当しているそうです. 現在この分野は競争が激しく, 彼らもとても忙しそうでした.

このあと再び Caltrain に乗ってサンノゼに着くのですが, それからの 4 日間はほとんど学会に参加していました. この学会は毎年アメリカのどこかの都市で開催されている, 計算機の分野では有名な学会です. (ちなみに来年はディズニーランドのあるオーランドで行われるそうです) 今年も展示ブースには SGI, SUN, IBM, NEC, 富士通, 日立等, 有名なコンピュータメーカーはほとんど参加してましたが, 展示してある大きなコンピュータはほとんどが模型で, ちょっと寂しい気がしました. その代わりに, 大学や研究所等が入ったいくつかのブースで冷却ファンをうならせていたのがクラスタシステムです.

クラスタシステムは, 数台〜数十台のワークステーションやパーソナルコンピュータをネットワークで接続したもので, 近年, 高価な大規模スーパーコンピュータよりもコストパフォーマンスが高いという理由から関心を集めています. そのため今年は, 学会の発表や講演でもクラスタシステムに関するものが多く, 今後このようなシステムの利用が増えることは間違いないようです. もちろん, スーパーコンピュータにしか出来ない処理はたくさんあります. しかし, 大型計算機センターとしても, このような流れはますます無視できなくなるでしょう.

(T.N.)

１２月に入りそろそろ「今年の十代ニュース」とか「今年の・・・賞」などと耳にするようになりました。

自分なりに今年はどんな一年だったんだろうと振り返ってみても年令とともに感覚が麻痺したのか、物忘れがひどくなったのか、それともあまりにもいろんな事がありすぎたのか、その時々には胸を打たれ涙したり、憤りを感じたりした筈なのに何故か遠い昔のことのようにそれぞれが霞んでしまいます。

でも、ショックだったのは山一證券の自主廃業、諸に我が身に降ってきて……あーあ。ま、仕方ないやと自分を嘲笑うのみ。

日本はもとより世界を見ても地球温暖化、とか宗教がらみの政治問題など暗いニュースばかり。そんな中で宇宙飛行士土井さんの“地球はとても美しい”と言う一言が脳裏に突き刺さりました。宇宙から見ても、地上に降り立っても、とても美しいと言うこのかけがえのない地球上で私たちはいったい何をやっているのでしょう。そうだ！今年一番感じさせられたのは権力に対しての個人の力の脆さだった。しかしそれ以上にマザーテレサに代表される個人の力の強さだった。これからは一個人の力をどのように使うべきかをもっと真剣に考えなければ……と強く思い至ったのでした。

(S.A.)